

西会津の自然を満喫！夏の思い出に 第4回西会津こども研幾塾

8月21日、22日に第4回西会津こども研幾塾が開催され、塾生18人は、上野尻地区の須刈岳登山、奥川の農家民泊を体験しました。

初日は齋藤和則さんのガイドのもと須刈岳登山に挑んだ後、奥川の農家民泊で、笹団子づくりやバーベキュー、花火など、夏のアクティビティを楽しみました。

翌日も天候に恵まれ、川遊びや豚汁づくりなどをして、塾生は2日間の充実した自然体験活動を終えました。



喜多方支部消防操法大会が4年ぶりに開催 町消防団がポンプ車操法の部優勝！

8月20日、喜多方消防本部屋外訓練場において、第6回県消防協会喜多方支部消防操法大会が4年ぶりに開催されました。大会には、各分団から選手を選抜し、ポンプ車操法の部と小型ポンプ操法の部に出場しました。出場した選手の皆さんをはじめ、町消防団一丸となって、本年5月からさゆり公園などで大会に向け厳しい訓練を重ねてきました。当日は訓練の成果を発揮し、両部門とも連携のとれた動きで機敏な操法を披露しました。審査の結果、ポンプ車操法の部で、2度目の優勝を果たしました。

五穀豊穡・商売繁盛を願う 諏方・熊野両神社の祭礼

諏方・熊野両神社の祭礼が9月16日から18日の3日間にわたり行われました。16日の宵祭り
と18日の後祭りには威勢の良い掛け声とお囃子とともに山車が練り歩きました。17日の本祭りでは、「神輿渡御」が行われた後、子ども神輿、本町有志会、四五六会、睦会による大人神輿がそれぞれまちなかに練り出し、野沢のまちなかには4年ぶりに祭りの熱気があふれました。



満100歳おめでとうございます 百歳賀寿贈呈 高橋千代さん

8月20日に満100歳を迎えた高橋千代さん（芝草）の賀寿贈呈式が、8月26日に行われました。

当日は、多くの親族をはじめ、町や老人クラブ連合会などから、高橋さんに賀寿や記念品などが贈られました。

高橋さんの日課は、新聞を読むことで、長生きの秘訣は、周りの人との会話を楽しむことだと話していました。

▲親族や関係者と百歳賀寿を祝った高橋千代さん

そばの里産地交流会 駐日リトアニア大使が来町

8月18日～19日、オーレリウス・ジーカス駐日リトアニア大使、日本リトアニア友好協会の平田美智子事務局長、安藤壽美子理事ほか計5人が来町しました。

薄町長は、大使の表敬訪問を受けた後、リトアニア共和国カズルー・ルーダ市のマンタス・ヴァラシュカ市長を交えて、オンラインによる意見交換を行いました。カズルー・ルーダ市には、萱本そば会の会員の皆さんや町関係者が本年2月に訪問しています。

その後、会場を移し、萱本そば会の主催で「そばの里産地交流会」が開催され、西会津産の打ちたてのそばや野菜、伝統食などが振る舞われました。翌19日、大使一行は萱本の花見山や西会津国際芸術村、道の駅にしあいづなどを視察しました。

西会津町とリトアニア共和国は、西会津国際芸術村にリトアニアのアーティストを招聘したことをきっかけに交流が生まれ、互いにそばの食文化を持つことから、萱本そば会の協力を得て交流を深めています。



▲左からオーレリウス・ジーカス大使、日本リトアニア友好協会の平田事務局長、安藤理事



▲カズルー・ルーダ市の市長らと交えたオンラインによる意見交換（市長は画面右下）



農業の現状やイメージを考える 西高生が農青連と意見交換会を実施

8月30日に西会津高校で、農業に関する意見交換会が行われました。JA会津よつば青年連盟北地区西会津支部、JA職員から農業の実態、やりがいやスマート農業などについて説明がありました。意見交換会に参加した3年生の7人からは、「農業は天候に左右され、大変なイメージがある」などの意見が出され、あらためて農業や食の大切さを感じたようでした。

(写真提供：西会津高校)